

端部シール用シリコン接着テープ パッチテープトウメイ™



パッチテープトウメイは、シンエツ パッチシールの端部・重ね合わせ部分の仕上げに使用することで、防水の信頼性を高めるパテ状の接着テープです。

※パッチテープトウメイのカタログやQRコードからの施工要領動画もご覧ください。

パッチテープトウメイ™

- 貼り付け後、一昼夜で硬化接着し、シンエツ パッチシールにもモルタル土台面をはじめ、各種被着体にも強固に接着します。
- コーキングガン・マスキングテープが不要で、誰でも簡単にきれいに施工できます。
- パテ状物なので、衣服や施工周辺を汚すことなく、隙間への充填が可能です。
- 廃棄物が少なく、環境にも優しい製品です。

■ パッチテープトウメイ使用の効果

シンエツ パッチシールの端部、重ね合わせ部にパッチテープトウメイを使用することにより、次の効果があり、防水の信頼性が高まります。

- ・大きな変形時の位置ずれを防ぎます。
- ・粘着層の露出を避け、粘着層への塵埃の付着・侵入を防止します。
- ・外的要因による端部のめくれを防止します。

■ 試験方法

目地部敷設を模して50mmの隙間を設けた2枚のモルタル板に、パッチシールのみ(テープなし)と、端部にテープを使用したパッチシールを貼った試験体を準備。

(株)島津製作所製オートグラフを用い、引張速度50mm/min.で50mm隙間を75mm位置まで引っ張り、10分保持。さらに100mm位置まで引っ張り、10分保持して状態を確認した。

■ 試験結果

パッチシールのみ(テープなし)では50mm→100mm(移動量50mm)の拡張により、端部の粘着層が大きく露出したが、端部にテープを使用したものでは、テープがパッチシール端部をしっかりと保持した状態を保っており、粘着層の露出や位置ずれが発生しなかった。

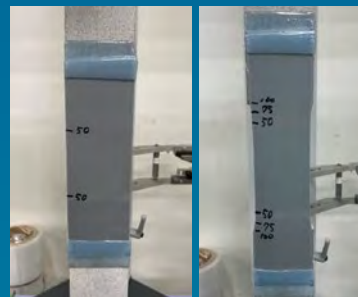
大きな動きが想定される場合には、端部の粘着層が露出して外的要因を受けやすくなるため、パッチテープトウメイの端部処理が有効と考えられる。

50mmの隙間が100mmに拡張する場合の
端部テープ なし(左)とあり(右)を比較

テープなしでは粘着層が露出




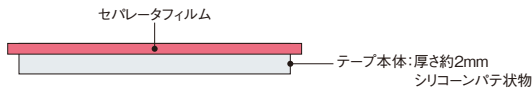
テープありではパッチシール端部を保持



■ シンエツ パッチシールの端部処理例



■ 一般特性

項目	製品名	パッチテープトウメイ	
タイプ		 透明タイプ	
構造		 セパレータフィルム テープ本体:厚さ約2mm シリコンパテ状物	
色調	セパレータフィルム	ピンク	
	テープ本体	透明	
標準サイズ	mm	25×3,000	
硬化後(シリコンゴム)試験項目		測定値	環境条件(養生日数)
硬さ タイプA		45	23°C/50%RH(8日間)
引張強さ	MPa	5.4	
切断時伸び	%	730	
引裂強さ アンクル形	kN/m	16	
対モルタル接着性*	N/cm	22	23°C/50%RH(8日間)
		17	40°C/95%RH(8日間)
対シンエツ パッチシール接着性*	N/cm	47	23°C/50%RH(8日間)
対パッチテープトウメイ接着性*	N/cm	65	23°C/50%RH(12日間)

*180度 剥離、テープの幅:10mm

(規格値ではありません)

■ 施工手順

step 1

施工前の調整

シンエツ パッチシールの敷設面は二種ケレンと水洗を行い、下地を調整します。

***被着面が完全に乾燥しているかを施工前に確認してください。**



被着面のゴミ油分を取り除き、手のひらに付着分がないことを確認してください。



step 2

シンエツ パッチシールの準備

現場でカッターによる寸法調整が可能です。カット後、セパレータフィルムを剥がします。

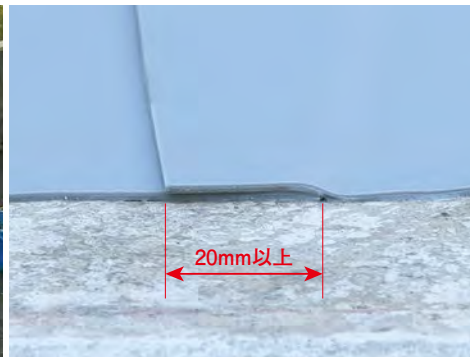
***目地幅は、シート幅の3分の1以下とします。**



step 3

シンエツ パッチシールの貼り付け

上から下へシートを伸ばさないよう慎重に貼り付けます。貼り付け後は、シートを手で押すなどして貼り付け面をなじませます。重ね合わせ幅は20mm以上とし、step 4の要領で、テープで接着固定をします。



step 4

パッチテープトウメイでシールして完成

パッチテープトウメイをセパレータフィルムを付けた状態で、パッチシール端部と被着体にかぶせるように載せ、セパレータフィルムの上からロールなどを使って押しつけてください。その後、セパレータフィルムを180度方向に静かに剥がします。包装開封後は、30分を目安に使い切ってください。



一昼夜で硬化・接着

パッチテープトウメイは、硬化・接着までに一昼夜かかりますので、その間は触らないでください。(低温環境下では硬化時間が長くなります)

- step 4のシール施工は、シーラントマスター-300-Gで行うこともできます。この場合、パッチシール端部と被着体にかぶせるように2mm以上の厚さでシールします。

パッチテープトウメイの施工要項は、QRコードからご覧いただけます。

